いいんちょの憂鬱

はぁ……
貴明ー お前本当に なんもやって ないの！
責めたりしねえから 本当のこと言えよ
ふぅーなんも やってねえんだって
ガタッ
ゴンッ
あいつに聞いてみたら？ あのやろうお前に つっかかってくるバカ
誰がバカよ
でもお前、あの 悩みっぷりは ただごとじゃねえぞ
本当ーなんも 心当たりないのか 本人に聞いてみろよ
ああ… 聞いても教えて くれねえんだよ

なんかよそれ？
だから俺は
何もしてないって
つーかあんたが
悪いのよ
だから
何もしてないから
悪いのよ
なんだこれ？
ああなるほどね
来るべきものが
来たわけだ・
なんだよ
どういうこったよ
げー
さっさとなんとか
しなさいよ
見てらんないわ
なんとかって…
どうしろってんだよ
またまた鈍感…
とぼけちゃって…

いいんちょと Hしてやれば いいんだよ
な……!?
ぎょっ
なにびびってんのよ 恋人同士なんだから 別におかしなことじゃないでしょ
いずれすることなんだから さっさとやっちゃいなさいよ
あーダメダメ こいつに言っても
ほっといたら 結婚するまで なんにも手出さないぞ
こういうのは まわりがなんとかしてやらねーと
おーい いいんちょー!
はい なんでしょう??
てってっ
おいでおいで
ちょっと ちょっと
あのさあ 最近Hなことばっか考えちゃって一人エッチしまくってるって本当?
なっ、ななな なんで知っ――!!

あ
かあ～～～っ
こら はやく誘ってやりなさいよ
お、あ ああ
あー えっと その－
きょ 今日 うち 寄ってかない？
え－ ・・・？
あ あのっ そのっ――
は はい！

でっでではあのっ
ふ　ふつつか者でありますがっ
てどどやっ始めれよっ
よっよよよろしくお願いしますっ
こ、こちらこそ
くあああああわっかんねー!!
ごめんな俺様…俺初めてだしどうしていいか全然わかんねーよ!!
い　いいえっ気にしないでくださいっあたしのほうこそ全部わかってませんっ!!
あ　あたしも初めてですしたかあま君にちゃんとご奉仕(?)できるかどうか

ととりあえず キ…キス…して… そのあとは…
たかあき君の好きにして――
たかあき君にだったら あたし…なにされても…
……
う うまくできるかわかんないけど やさしくするから…
痛かったりなんかしたら言ってくれな
は…はいっ あたしのほうこそっ
よ、よろしくお願いしますっ
んっ
ん……
もじ…

はー……
すっごいキレイだ
かぁ～
…やだ ずーっと見てたい
え、あ ありがと
あのっ そ、そんなにじっと見ないで恥ずかしいよ――
もじ
もじ
ふえぇ… いじわるだぁ…
胸もふかふかで なんか吸い付くみたいな……
ぺにょん
ふに
ふに
あ
ふあ

下も触るよ？
え あ！今はダメ
びくっ
くちゅ
あれ？
なんかすでにぐっしょり濡れてるんですけど
あぁ〜〜〜
なあ愛佳 なんで？まだなにもしてないのになんでもうこんなに濡れてんの？
な ななななんでって
もしかして愛佳けっこうエッチなこと好き？
そ そそそそそんなことない ない
でも毎日オナニーしてるんでしょ？
そ それはも もおぉ〜！今日のたかあきくんいじわるだぁ〜！
いやあ〜 愛佳が可愛いからついいじめたく――
ぽかぽか
とにかくこれなら大丈夫だと思うしもう入れちゃおうか――？
どきっ
！
びんっ

ま、まって
たかあき君っ
あ あの
おいで…その
ふぇ、フェラチィ
してみますから…っ
え
ま まじで？
まっまま
まじですっ
う、うまくできるか
わかりませんけど
がんばりますからっ
大丈夫？
無理しなくても…
かたい
だだっだだだ
大丈夫！
問題ないです！
ちゃんとえっちな本で
勉強して来ましたから！
で では…

男の子って
先っぽがいちばん
気持ちいいんだよね？
あたしちゃんと
できてる？
気持ちいい？
あ…ああ
すごく気持ち
いいよ――
ほんとに？
じゃあもっと
がんばるね
んんっ
んっむ
んんっ
わ…
ちょ…
まっ待って
ちょっとタンマ！
それ以上は
やば…
ふえ？
ん
は
んふ

うあ…もう
出るっ……！
わ
わ
わ
こんなに
出るんだ……
ごごめん
あ　あやまる
必要なんて
ありませんっ!!
えっ
あたし…あたし
嬉しいんですから!!
だって
これって
たかあきさんが
あたしで気持ちよく
なってくれたって
ことだもん
ぺろ

じゃ入れるよ いい？
う、うん ど、どうぞ…
ぐぷぷぷ…
あ…ああ……
受住はどう？ 痛くないの？
そ それがあんまり痛くないの 覚悟できてたのに拍子抜けたった
むしろけっこう気持ちいいかも
うわ…受住の膣内あったかくてすっげー気持ちいい…
ほ、ほんと？ よかった…
だから ちょっとくらい激しく動いても大丈夫だよ
いっしょに気持ち良くなろう？
ドキ
お おう

ふあっ！
あんっ
ひあ
あ
ふあ！
もっと激しくしていい？
うっうん激しくしてっ
あたしもっすごく気持ちいいからぁ
んあっ！
あ――
すごっすごぉ…
もっとぉもっと激しく突いてぇ――！
気持ちいいすごく気持ちいいの――！

す…
すごいよぉ…
ぐぽっ
ぐぽんっ
どぷっ
ぐちゅ
ぐちゅっ
はげしー
気持ちいいい――!
あ…
くる…
すごいの
きちゃう
がくがく
ぞ…
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅっ
ふああっ!!

はわ
精液でいっちゃうぅ……
いく　また・いく
ふわあぁ……………
わたしの身体気持ち良かった――?
うん最高だった・
ほ　ほんとに?

あ あのっ じゃっじゃあそのっ
も…もう一回 したくない…？
かあ～～っ
愛注 もう一回 したいの？
い いやあの その なんとなくって いうか…
愛注って やっぱけっこう エッチなこと 好きでしょ？
や… も、もおお～～っ！
ぽかっ ぽかっ ぽかっ
まあいいじゃん もう隠す必要 ないんだし
エッチな愛注 好きだよ
やっぱりいじわる
ちゅっ
ん…
つづく！